

授業概要

科目名		身体障害治療学演習Ⅰ				授業の種類	演習	講師名	石浦、巢守	
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年 前期
【授業の目的・ねらい】 身体障害領域における作業療法を学ぶ。										
【実務者経験】 （石浦）総合病院および一般病院にて8年間臨床業務を経験している。その他、通所リハビリテーションでの勤務経験もあり、急性期から維持期、地域における作業療法実践の経験がある。 （巢守）順心病院、石川病院にて、身体障害領域での急性期・回復期・維持期の幅広いリハビリテーションに従事経験。										
【授業全体の内容の概要】 疾患ごとに作業療法の方法論を理解する。										
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 解剖学生理学運動学と病態とのつながりと病態に関する医師他の関わりや各種治療法と作業療法との関連がわかる。										
回数	講義内容								準備物(教材)	
1	リハビリテーション概要・脳卒中リハビリテーション								資料・PC プロジェクター	
2	ブルンストロームステージ								資料・PC プロジェクター	
3	ブルンストロームステージ・動画を用いた動作分析								資料・PC プロジェクター	
4	ブルンストローム別に応じた上肢訓練								資料・PC プロジェクター	
5	脳卒中後片麻痺の機能回復について								資料・PC プロジェクター	
6	高次脳機能障害について								資料・PC プロジェクター	
7	MAL・USNの評価のポイント及び治療								資料・PC プロジェクター	
8	USNの評価及び治療のポイント・失語症の評価及び治療のポイント								資料・PC プロジェクター	
9	症例検討：模擬症例に対し、目標設定、治療プログラム、家族指導等について考える								資料・PC プロジェクター	
10	上肢切断者を支援することーリハビリテーションと作業療法ー①								資料・PC プロジェクター	
11	上肢切断者を支援することーリハビリテーションと作業療法ー②								資料・PC プロジェクター	
12	脊髄損傷のリハビリテーション①								資料・PC プロジェクター	
13	脊髄損傷のリハビリテーション②								資料・PC プロジェクター	
14	関節リウマチの作業療法ー概論とスプリントー								資料・PC プロジェクター	
15	関節リウマチの作業療法ー関節保護・生活の工夫編ー								資料・PC プロジェクター	
	定期筆記試験									
【使用教科書・教材・参考書】 ゴールドマスターシリーズ 身体障害作業療法学 メジカルビュー										
【準備学習・時間外学習】 各疾患に関しては内科学、整形外科学、神経内科学、老年期学、リハビリテーション医学、一般臨床医学などで学修するが、前後することも多いのでしっかり予習復習に時間を取ること。また、評価学とも重複する部分はあるが前後することも多い。そのため、並行してしっかり学修しておくこと。										
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期筆記試験を100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。										